



かえでゆうびん 2月号

1月は、何年ぶりかの寒い日が続きました。氷や霜柱、そしてお昼寝の時に降った雪で夕方に一瞬の雪遊びを楽しむことができました。東京の園ではかまくらやそりすべりを満喫できたよと聞くと兵庫県奥から雪を運んで思いっきり雪に触れさせてあげたいと思いました。

自然の営みは子どもたちの五感を刺激するとともに、気持ちや思いまで育ててくれます。「さむい・・・」と体を丸くして震えていた子どもお友達の「あ！氷できてる～！！」「わ～雪がつもってる～」の声に、ぱっと表情が変わり、氷の場所へ一目散！手や鼻を真っ赤にして我先に氷を手にと・・・

わ～きらきらしてる！ お日様にすかしたらガラスみたい。たべたいな～ 手で持ったらなくなるよ！など、口々に思いや気持ちが出、その状況をみんなで共有することで、全ての子どもがニコニコ顔に代わります。その時の冷たさや、寒さは『面白い』『すごい』『触りたい』『不思議だな～』に代わり、その気持ちは一瞬でやる気を起こしてくれます。

この繰り返しの体験は、子どものときにしかできない貴重な体験ですね。

2月入ってすぐに『成長発表会』が開催されます。毎年この時期になると、子どもたちの『表現する姿』や『がんばる姿』『やり遂げようと協力する姿』など一年の成長を見せてくれる子どもたちに練習の際にも何度も目頭が熱くなります。この表現は『運動発表会』での頑張りとは少し違う、自分をどう表現するかを子どもたちなりに楽しんでいる様子が見られます。幼児になるとセリフや動きを自分たちで決めて話すので、とても面白く仕上がりました。

この劇あそびや合奏は、担任との掛け合いを楽しんだり、友だちと一年過ごした出来事を思い出しながら作り上げてきましたので、「上手にできた」という気持ちではなく、その子らしさが表現できたな～という気持ちでご覧になってほしいと思います。

大人の何気ない一言が気持ちが小さな心を傷つけることになります。みんなで育ってきたかえでの毎日・・・と『ふるさと』の歌詞にもあるように29年度始まった4月から思い返しながらか成長発表会にご参加ください。

開催にあたりまして・昨年度の反省を再度検討しなおしました。

会場の入れ替えは、敬老席や兄弟関係の方が着席したままは不公平だ・・・全員に退出して頂きます。敬老席に若いおじい様・おばあ様が座られていた・・・敬老席は基本70歳以上の方・体の不自由な方に限定させていただきます。

ビデオの映りが悪い・・・・・・・・・・・・・基本的に園が撮影します。背の高い脚立に設置し、撮影してみます。

時間が長引く・・・・・・・・・・・・・プログラムを吟味し、時間短縮を目指してありますが、お子様の様子で変動があります。

司会・進行の先生が棒読みだった・・・・・・・・・・・・・子どもたちの様子が気持ちよく説明できるよう練習から参加して準備しました。

子どもたちが日ごろの様子を披露でき、保護者の方が気持ちよくご覧いただけるように職員が一丸となって企画・進行していきます。聞き苦しかったり、セリフが出てこなかったりしますが、じっと待っていただき、見守っていただければ嬉しいです。

そして、2月は節分・・・かえで保育園には赤鬼がやってきます。この鬼は一年に1回、かえで保育園で起こる悪いことを持って帰ってくれる鬼です。人に意地悪をしまったり、うそをついたり、人の迷惑になることをしたりする心を、また、病気やけがになってしまう弱いからだを持って帰ってもらいます。決して怖がらすためのものではありませんので『いうこと聞かないと保育園の鬼に連れて帰ってもらうよ！』とは言わないでくださいね。

無病息災・・・今年も皆が元気で楽しく過ごせますように・・・

ひかり・だいちが雪遊びに行きます。今年は雪や氷の体験をしましたので、今からどんなにたくさん雪があるか楽しみにしています。いぶきさんも来年行きますので楽しみに！！

少しずつ春が近づいてきていますね・・・園庭の木々も小さなつぼみができています。

にこにこメッセージ♪

大寒をすぎた1月下旬、寒い日が続きピオトープの水が薄らと凍っていたことから、子どもたちはその日から自分たちでも氷ができないかと「たらいや小さな入れ物」に水を張り、氷が出来ることを楽しみにする日々が続きました。次の日、園庭・2階のテラスなどに色々なものを仕掛けていた子どもたちは、薄い氷・分厚い氷と様々な形に凍っているものに冷たさを感じながらも溶けてなくなっていく氷にまた明日も作ってみたい、やってみたくと期待は膨らんでいきました。その日の夕方は、じゃぶじゃぶ池に4・5歳児の子どもたち数人が集まり、井戸の水を池に流し入れる子、流れ出そうになっているところには砂場の土で水を堰止めながら全体にうまく水を張っていました。「何してるの?」と声をかけてみると、一人の子が「スケートを作っている、お願いだからこのままにして」とお願いされました。「明日ここで?」「そーここでスケートするんだー」と子どもたち、その後薄暗い中、祈祷?をした後、それぞれ家路へ、夕方の事務所では「大人としては寒いのは辛いけど、明日も今日と同じぐらいの寒波が来るといいね」と話しその日を終えました。次の日、楽しみに登園してきた子どもたちはいつもより早めに園庭に飛び出し、一目散にじゃぶじゃぶ池へと「凍ってるー!!」と大喜び、でも薄くしかできていない氷を見て「スケートはできへん」とショックな表情を見せながらもしばらくすると、顔よりも大きな氷を手にしたり、氷の上にそっと足を乗せてみては割れてしまう氷に不思議さを感じている様子を見ることができました。日常生活の中でも自然の事象にふれ、子どもが子どもらしく遊ぶことのできる環境は子どもと共に保育者も楽しみ、「冬」を見つけることのできた時間でした。氷を楽しんだあと雪の結晶もみたいと、絵本や図鑑でどういう風にするか調べています。虫眼鏡などを保育室にスタンバイさせている子どもたちは、寒い日が来るのをまたまた楽しみにしています。

寒い日が続きますが、手洗いやうがい、空気の入替えなど衛生管理に十分気をつけながら子どもたちの健康管理を行っていきたいと思っています。

主任保育士 藤森寿美

せんせいからのおはなしコーナー

子どもの頃は人見知りかひどく、母以外の大人には全く目も合わさず、ずっと抱っこをしてもらっていたそうです。今の私からは想像できない姿ですが…(笑)

いつからか友達に「よく笑うよね、悩みがなさそう」と言われるようになりました。なにがきっかけで人見知りしなくなったのか分かりませんが、仕事につき始めて人見知りしないようになり良かったなと思います。今では友達によく言われる「笑顔よし」は自分の長所だと思っています。

この仕事につき、子どもたちや保護者の方と関わる中でよりいっそう「笑顔」は大切なことだと感じます。常に笑顔で子どもたちと接することで、子どもたちと近い距離で関わる事が出来ると考えています。毎日、子どもたちの可愛い姿に癒されていますので自然と笑みがこぼれてしまいます。保育者の表情はとても大切で、泣いたり笑ったり喜怒哀楽がたくさん見られる子どもたちと過ごす中で、言葉はなくてもじっと表情を見て伝わる場面がたくさんあります。また、子どもたち同士の関わりの中でも目や表情だけで通じ合っていることもしばしば。そんな姿を見てほっこりさせてもらっています。

これからも子どもたちと笑顔で楽しく関わり、笑い合いながら過ごしていきたいです。そして、長所を活かしつつ、また新たな自分の一面を見つけていきたいと思っています。

林 千紗

～ めばえ・ふたば お知らせ・お願い ～

- ・寒暖差があり、体調を崩すお子様も多いです。朝の受け入れの際には視診を行います但し変化のある場合、必ず保育者に一言お声掛けをお願いします。
- ・帽子、上着は週末にお持ち帰りください。冬でも大変汚れています。ご協力をお願いします。

～ つぼみ・幼児 お願い ～

- ・毎朝9時30分より、お集まりを行っています。通院や家庭の事情以外にご協力をお願いします。
- ・外遊びの有無の申し入れは、病院の指示がある場合は考慮しますが、お子様の体調でこちらで判断させていただきます。

～めばえぐみ～

ねらい：「お友達と一緒にあそぶことを楽しむ」「手先を使った遊びをする」

う た：「ひなまつり・あたまかたひざぼん」わらべうた：「かごかご」

年末年始の休み明けには子どもたちの成長した姿を見ることが出来ました。たった一週間の短い間でしたが、出来ることが増え話す言葉も増えお父さん、お母さんと楽しく過ごせたのだなと感じました。1月は気温や体調に合わせて園庭に出て身体を動かして遊んだり、寒い日にはランチルームやフリールームに出掛けに行きボール遊びや体操など室内でも身体を動かして遊べるようにしました。また、ふたば組への進級に向けて、手洗いはじめたり帽子や靴も自分でしようと出来るように保育者から声掛けをしたり見守ることを大切に毎日の保育を行っています。

あーん

お友達同士で遊ぶことも増えてきためばえさん。ままごとでは自分で作ったご飯を前までは「わたしだけ」といってお友達が触ろうとすると怒っていた子どもたちですが、最近は「あーん」と口元までスプーンを運び食べさせてあげる姿が見られるようになりました。少し遠くにいる先生にも腕を伸ばしてもぐもぐと口を動かし食べる真似を求めてくることもあります。だんだんとお友達と一緒に遊ぶ楽しさも分かってきたのだなあと思います。



おいちいっ！

食事では自分で食べられるようになってきました。1対1で丁寧にやってきた食事ですが今はほとんどの子が2対1で食べています。お友達と食べるようになると一緒に食べている子の様子をじっと見て苦手だった野菜も食べられるようになったり、「おいしい」と保育者とだけでなく、お友達と一緒に食事をする楽しさを共有しています。また、自分でスプーンを上手く使えるようになり左手でお皿をしっかりと押さえながら丁寧にすくって食べています。食前・食後の挨拶もエプロンを自分でつけて手を合わせて行っています。ままごとをしている中でも食べる前には手を合わせて楽しむ姿も見られ普段の生活の流れが子どもたちに身につけて行っているのだなと思いました。



おいで

お友達の名前を覚え、「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と名前を呼べるようになってきて、遊びに誘ったりお外へ行く時やおやつを食べに行く時には「おいで」とお友達の肩を優しく叩き呼んであげることもあります。気持ちが伝わらないこともあります。自分からお友達と関わろうとする姿がたくさん見られるようになりました。



“担任の思い”

自分で出来ることが増え、ズボンに足を通そうとしたり服を脱ごうとしたり毎日子どもたち自身でやっていこうとする姿は逞しく、「すごいな」と思います。子どもたちが毎日過ごす中で小さな気付きや、成長を保育者が感じ取り気持ちを共有して子どもたちに寄り添って残りのめばえ組の2か月でお子様の成長をたくさん発見したいと思っています。

～ふたばぐみ～

ねらい：「季節を感じながらあそぼう」

う た：「ひなまつり」「ふしぎなポケット」

手遊び：「キャベツはキャキャ」

わらべうた：「どんぶかっか」「もぐらどん」「2階へ上がらしてや」

言葉が一段と増え、友だちとやり取りをしながらあそぶ姿が増えました。おもちゃのかばんに気に入ったおもちゃを入れ保育者に「いってきます」と友だちと手をつなぎながら出かける真似をしたり、「ただいま」と元の場所に帰ってきています。これからどんどん子ども達同士のやり取りが増えてくるので、楽しみです。

みんなで歌うとたのしいね



春からわらべ歌や季節の歌、手遊びなどたくさんの歌を聞いたり歌ったりしてきました。わらべ歌では、保育者が向かい合わせてすると、始めのころは「やって」と順番を待っていましたが、今では、友だちとやってみたり、友だちにやってあげたりやってもらったりする姿が増えてきました。友だちとやってみる姿に成長を感じ嬉しいです。季節の歌では、ピアノの音を聞きながら歌い、手拍子等もつけながらリズムに合わせてしています。にこにこ広場から聞こえてくる歌にも反応して歌ってみたり、「これ何のうた？」と尋ね一緒に歌ったりもしています。楽器に触れる機会も取り入れ、タンバリンやすす、カスタネット等自分で鳴らしてみたい楽器を手に取り、歌いながら鳴らしてみました。「何の歌がいい？」と終わるたびに尋ねると、「きらきら星」や「おばけ」などリクエストに答えながらリズム遊びをしました。こちらからもたくさんの歌や楽器遊び、わらべ歌等を歌ったり鳴らしたりしながら過ごしていこうと思います。

寒くないよ



1月に入ってから、気温が下がり風も冷たくなる日がありましたが、ふたばぐみの子どもたちは園庭に出ると「よーいどん」と走ったりすべり台を往復してたくさん体を動かして遊んでいます。友だちとの関わりも増え、めばえ組の前のテラスにある柵越しに「いらっしゃいませー」「100円です」と言いながらやり取りをしたり、竹や木の台を使って「そうめん流しだよ」と言ったりしながら、自分たちで作り出し始めていました。園庭にいる、犬のつぼみちゃんとういちゃん遊び保育者が「何しているの？」と尋ねると「お医者さん」と答えてくれました。幼児クラスやつぼみぐみが遊んでいた姿を今まで見てきていたので、同じようにお医者さんになりきってあそんでいたんだなと嬉しく思いました。これからも寒い日は続きますが、園庭に出て遊び、他のクラスの遊びを見たり、一緒に遊んで沢山の遊びややり取りも見たいと思います。



“担任の思い”

部屋では、絵本のコーナーとしては設けていませんが、自分で見ながら言葉にしながらかいたり、1ページずつめくったり出来るようになってきたので、保育者に取ってもらい絵本の見やすい場所をその時に応じて提供していくようにしました。遊びの空間の中に保育者の手の届く位置、子ども達からも見えるように場所を考えながら設置し、子ども達もどの絵本が見たいか選択できるように考えました。保育者が主に読んでいくようにはしていますが、子どもたちの成長を見ていきながら環境を整えていくように今後も心掛けていこうと思います。

西口智子・木下明友美・星加由美子

ねらい：「友達の気持ちに気付き、協力して遊ぶ」

う た：「うれしいひなまつり」「幸せなら手をたたこう」

1月になり、園庭に出て冷たい風が吹くと思わず「さむさむだね！」と友だち同士で話している様子も見られます。寒さが厳しい日には上着を着ているからか、保育室にいる赤ちゃん人形にも重ね着をさせて遊ぶ姿も増えてきました。「これでさむくないね」「風邪ひいちゃうから」ともこもこになっています。また、赤ちゃん人形だけではなく、園庭のわんちゃんたちが「何も着ていないね」と気づき、ポンチョを作って着させてあげました。ポンチョの色も子どもたちと選び、ピンク色がういちゃん、黄色がつぼみちゃんに決まりました。ボタンもペンで可愛く色をつけて、お気に入りの松の木の下で風邪をひいた2匹を治してあげたり、誕生会を開いたりより一層わんちゃんがつぼみの仲間になっています。



“わんちゃんのお名前は…?”

つぼみぐみのみんなが大好きで、園庭に出ると一緒にごっこ遊びをしている2匹のわんちゃん。夏からずっと一緒に遊んでいたのに、これまでお名前がありませんでした。そこでつぼみ組のみんなでお名前を付けてあげることにしました。「何が良いかな？」と尋ねると、クラスのお友だちの兄弟やキャラクター等いろいろな案が出てきました。たくさんの中からみんなを選び、耳のピンと立っている子が「つぼみちゃん」、耳が垂れている子が「ういちゃん」に決めました。ういちゃんは原田先生の赤ちゃんの名前です。私たちが何も言っていないのに、しっかりと覚えていて子どもから候補に出てきてびっくりしました。



“たこあげ”

お正月明けに、自分の好きな色でビニール袋に絵を描いて凧揚げを作りました。初めて作った日は風が強く、紐を持つと高く高く舞い上がっていました。しっかり持っていないとすぐに紐が手のひらから抜けて飛んで行ってしまいます。「まって～!」「どっかいっちゃった…」と一生懸命走り回っているつぼみ組の子ども達。大型の凧は数人がかりでも飛ばされないように必死です。また凧揚げで風に興味を持ち、ひらひら落ちていく葉の真似をして楽しんでいる子もいました。次の日から「今日、凧していいの!」「先生!凧出して!」と凧への情熱は冷めず、自分で描いた凧を持ってテラスを駆け抜けて園庭へ出ていっていました。



“担任の思い”

園庭に出ると小さなお友達に興味をもって大丈夫かな?と滑り台や築山で遊んでいる様子を見守ったり、鼻水を拭いてあげようとしたりお世話をしてあげる姿が見られるようになりました。今まで赤ちゃん人形やわんちゃん達にしてあげていたことや、自分たちがしてもらってきたことをしようとしているようです。誰かのためにしてあげようとする優しい気持ちを持ち、お世話をしてあげるお兄さん・お姉さんになっているのだな、と成長を感じています。

ごっこ遊びでも協力しながら遊んでいます。自分の思いを自分で伝えようと挑戦し難しいこともあります。少しずつ子どもたち同士で話しあうことができるように見守ることも増やしていきたいと思ひます。

立田 瑛怜菜・林 奈津美

ねらい：「自分で出来ることを知り自信につなげる」

う た：「ともだちになるために」

かっぱブームが再来しました。「かっぱに会いたいな」という思いが強かったのか、ある日手紙と一緒にきゅうりが保育園に届いたのです。新聞紙の中には2本のきゅうりが入っていて、手紙には「このきゅうりで かっぱをみつけてください」と書いてありました。2本あるきゅうりはどうする？とみんなに聞いてみると「かっぱに1本あげて、いぶきさんが1本食べる」ということに決定しました。きゅうりを持ったらすぐにお散歩の準備！「むしかごとむしあみもいる！」とかっぱを捕まえる気満々で出発しました。



“かっぱを探しに夙川へ”

「かっぱさんにきゅうりをあげたい！」「かっぱさんにあえる！」と大興奮で行ったかっぱ探し。川に着くなり「かっぱさあーん！」と大きな声でかっぱを呼びました。川にはカモもいたので「かっぱさんしてる？」とたずねたり、川の向こうまで走って行ってかっぱを探したりと会いたい気持ちが溢れ出ていました。そして、持ってきたきゅうりを川のそばに置いてみんなでかっぱを待っていると、さっきまで置いてあったはずの

きゅうりが消えていたのです！「かっぱさんがたべたのかな？」『いや、カモかもしれない…』「カモってきゅうりすきなん？」『たべないよ！だからかっぱだよ！』などと言いながらドキドキのかっぱ探しは終わりました。直接渡したかったというきゅうりがいつの間にか消えていたことで「本当にかっぱがいるかも」という気持ちと「かっぱに会えなかった」という気持ちとで複雑そうないぶきさんでした。ちなみにもう1本のきゅうりは、園に帰ってからかっぱ巻きにしておいしくいただきました。



“本物のかっぱ？！”

かっぱに会えなかつたいぶきさんでしたが、なんと突然絵本に出てくるかっぱのガータロがお部屋に来てくれました。「ほんものじゃないよね」などと言いながらも本物そっくりのガータロに「みんなでおせわしなきゃ！」「きゅうりたべるかな？」と早速ガータロのお世話を始めていました。お昼ご飯の時には「かっぱさんもおなかすいてるとおもう」と作ったきゅうりをあげたり、「かっぱまきすきかな？」とおままごとの具材を使ってかっぱ巻きを作り、ガータロに渡したりしていましたよ。かっぱの世界と現実の世界が

繋がりはじめています。

“もっと高く…”

お部屋の積み木コーナーでは、以前だいちぐみが作ったクリスマスツリーを作ってみたくて、いぶきぐみのツリー作りが始まりました。積み木を縦に4つ積み上げる積み方で、「4つやで！」とお友達とか声を掛けあって数を数えながら積み上げました。最終的には脚立も活用して「こわいよ～」と言いながらも慎重に積み上げ、天井に届くほどの高いツリーが完成しました。



“担任の思い”

かっぱの出来事、子どもたちの想像力・もちろん現実ではありえませんが「ほんと?!」とどっぴりと世界に浸って不思議だな～と感じている姿をみると、うらやましいです。子どもたちの次々出てくるストーリーに「もっと何かできないかな」「こうしたら・・・」と私の原動力になっています。

これからもいぶきさんと一緒に様々なことを楽しみ続けていこうと思います。

ねらい：「様々なことを自分で試して表現する」

う た：「みんなともだち」「きたかせこそうのかんたろう」

朝、園庭に行く前に歌を歌います。子どもたちから「たこのうた弾いて」「ピクニックだったらいぶきさんも歌えるよね」と歌を歌ったり、歌に合わせて身体を動かしてみたりと個々で感じた表現をしています。楽器もいろんな楽器に触れてみたり、聞く中で「この音いい!」「ワクワクする」と子ども同士で音楽に合わせてリズムをとる姿も見られるようになってきました。成長発表会では保育園での楽しかったことや興味のあること、そして成長したところを見ていただきたいです。

“もっともっと引っ張って”

絵本『さつまのおいも』にでてきた綱引きの場面を見て、長い縄を持ってきて赤白チームに分かれて綱引きが始まりました。「7人の時はどうするの?」「3人と4人です?」「3人の方が弱くなっちゃうかも…」と絶対に勝ちたいひかり組は人数決めから話し合っていました。実際に3対4で始めてみると3人チームの勝利!なんでだろう?人数少なかったのにな…と不思議に感じながらも「みんなで力合わせてたからじゃない?」「じゃあ作戦たてなきゃ」と各チームで作戦を立てながら人数が少なくても最後は側で応援していたつぼみさんも一緒に綱引きをして大盛り上がりでした。



“不思議がいっぱいな氷”

園庭に出ると「先生見て!凍ってる!」と水を溜めていたタライに大きな氷ができていました。分厚く出来た氷を持ちながら「重いな~誰か手伝って!」と近くにいた子と一緒に持ちながら「あ~冷たい!」「手凍りそう~」と話しながらもキラキラした氷を持ちたい気持ちもあって落とさないように離さず持っていました。太陽の光で綺麗に光る姿をお友達に教える子もいました。落ちて割れてしまった氷をみて「割れちゃった…でもきれいな音だったね」と割れてしまったけど落ちた時に聞いた音を楽しむ子もいました。「水に入れたらどうなる?」「…あれ?見えなくなるなんで?」とたくさんの発見がありました。この時期ならではの遊びを肌で感じていました。



“担任の思い”

氷に触れて不思議に感じたことやみんなで協力した綱引きでの達成感と色々な経験を通して自分に自信がついて、思いっきり自分を表現することが増えてきたように感じます。保育園で生活する中で、だいちへの期待をもちながらも、自分とお友達、さらに幼いお友達にも自然と意識しながら過ごしてほしいと思います。自分の好きな遊び、知ったことをお友達と一緒にやってみたい、話してみたい、知ってほしいことを自分で伝える姿も見られます。そんなこと知ってるの?やりたいやりたい!とお互いの気持ちが通じ合うと集中してそれぞれの時間を楽しみながら過ごしています。そんな時間をたくさん作って行きたいです。

ねらい：「周りにいる人に“ありがとう”の気持ちを持つ」「身の回りの物を大切に思う」

う た：「切手のないおくりもの」「友だちはいいものだ」

1月は、劇あそびや合奏を通して表現する楽しさを味わい、驚くほど豊かな表現を見せてくれただいちさんでした。そして人それぞれ表現の仕方が違うことを知り、互いに認め合うことも出来るようになった16人の仲間の間には、ほっと安心するような空気が流れているように感じます。仲が良いあまりに食事中盛り上がりすぎてしまうこともあります…。残り2ヶ月のだいち組では、友だちと助け合うことも大切に見守りながら、身の回りの整理整頓や体調が優れない時に自分の言葉で伝えること、生活面で今後困った時に自らの力で解決していけるような姿も大切に関わっていきたいと思います。

“見守ってくれている人がいること”

保育園の中で、それぞれが興味を持ったことを遊びの中に取り入れ日々楽しんでいる子どもたちですが、その様子から“もっとこんな経験もして欲しい”“こんな関わりがあれば良いのでは”と考え、あそびが広がる「きっかけづくり」をしています。その中でも、体育あそびの中で経験したことをきっかけに広がっていったあそびをご紹介します。12月、1月の体育あそびでは、ボールに触れる機会を多く持ちました。いきなりキャッチボールとなるとボールに対して“痛い、こわい”という気持ちばかりが膨らんでしまうため、友だちと近くで手渡ししたり、ボールを横から投げることを楽しむところから始めました。時には東三公園に出かけておじいさんおばあさんがゲートボールをされている隣で体育あそびをしたこともあります。すると、子どもたちの様子を見ていた一人のおばあさんが「何歳なの？すごくしっかりされてるわね」と声を掛けてくださいました。お話をさせていただくと、普段もかえで保育園の前を通る機会があるということで、「いつも元気だなと外から見て思っていたの」とおっしゃっていただき、その後もだいちさんが体を動かし楽しんでいる様子を、にこやかに見てくださっていました。

ボールあそびを経験しただいちさんは次に、ドッジボールを始めました。何となくルールを知っていた子も、友だちと改めてルールを確認し合い、“みんなと同じルールを守る”“友だちと力を合わせる”ことを、自然と経験していったように思います。ボールが当たった時には痛くて涙を流すこともありましたが、途中で「やめたい」と諦めたり、相手を責めるようなことはありませんでした。それが反対に「力」となり、次のボールが回ってくるのを今か今かと待ち構えていたように思います。体育あそびの中でルールを覚え、ドッジボールの楽しさを知っただいちさん、今後も継続してあそびの中で新しい姿が見られたり、友だちとのやりとりも広がっていくのではと思い、園庭あそびの時に誘いかけてみました。すると一人、二人と集まり、次第にクラスの半数以上の子が参加していました。そしてその頃、ひかりさんも同様にルールのある遊びに楽しさを感じ、一緒に鍵鬼ごっこを楽しむ姿が見られました。それからはドッジボールにもすすんで加わり、今ではひかりだいち組の混合チームで毎日のように楽しんでいます。

ゲームが始まる前に保育者がルールを伝えなくとも、あそび中でだいちさんからひかりさんへ、自然と伝え合う姿が見られました。“ボールに当たらないように”と逃げることに夢中になっている子の中にも、勇気を出してボールをキャッチしようという気持ちが芽生えたり、同じチームのことを力いっぱい応援する声も聞かれるようになりました。子ども同士で繰り返し遊ぶことで自然とルールや楽しさが分かってきた出来事でした。



“担任の思い”

“だいちさんももうすぐ小学生…”としみじみ感じながら、心も体も少しずつ成長していくだいちさんの姿を喜んでくれている人は、周りに沢山いるのだと改め感じることも多くなりました。体育あそびの古井先生とは毎回子どもたちの様子を振り返り、次回の活動に繋げてくださっています。東三公園で出会ったあばあさんも、顔や名前までは互いに知らなくとも、かえで保育園という場所に子どもたちがいて毎日元気に園庭を走っていることを温かく見守ってくださっていました。いつもお世話になっている八百屋のマンダリさんには、新年の挨拶に向かうと笑顔で迎えてくださいました。新しい環境に向けて不安を感じられることもあるかとは思いますが、成長を見守ってくださる温かい目が沢山あることに子どもたち自身も改めて気づき、安心して大きく大きく育っていったらいいなと思います。

保護者の方からのおはなしコーナー

毎日やりたい事、好きなことに熱中している姿にとっても成長を感じる日々です。

小さな子たちへの愛情も深く、乳児クラスのお母さんたちにも覚えてもらっていたり、立派に成長したなと嬉しいです。かえで保育園での6年間の賜物と思って感謝しかありません。

だいち組 あきこさん

3歳なった息子。

いつ覚えたの!? って思う事が増えてきました。

この間は「お父さんと結婚する」と言い出して結婚って言葉が出てきたことに驚きました。

保育園で色々な事を学んでいるんだと成長を嬉しく感じる日々です。

つぼみ組 けいこさん

まだまだ甘えん坊で赤ちゃんみたいな面も多々ある娘。そんな娘ももうすぐだいち組。「だいちさんになったら楽しいこと沢山だけど、自分のことは自分で出来ないダメなんだよ」と話をすると娘なりにじぶんでやろうと頑張る姿が最近やっと見られるようになりました。娘もだいちさんになるのを楽しみにしているようです。

ひかり組 あきさん

かえでに通いだして絵本が大好きになった娘。最近のかえでのかっぱの絵本を読んでもらってかっぱに夢中。かっぱ探しに行ったことやかえででかっぱを見つけた事、かっぱ情報をとても楽しそうに話してくれます。絵本を通じていろいろな世界へつながりが広がっていることが親として嬉しいなと思います。本が身近にある環境、また先生方のたのしくワクワクする工夫のおかげだと感謝しています。

いぶき組 みはるさん

保育園から帰ろうとする娘を「待ってえ」と言いながら追いかけてくる女の子。二人は笑顔でタッチを交わし、満足げに別れていきました。

言葉はほとんど話せませんが、心の通うお友達が出来ました。

一歩ずつ確かな成長を感じています。

めばえ組 まちこさん



～お台所から～

まだまだ寒い日も続きますが、2月も旬の食材を多く取り入れた、温かい美味しいご飯をたくさん提供していきます。子どもたちに『食』から文化を伝えたり、季節を感じてもらったりしていますが、寒い時には、やけどをしない程度に『フ～』と冷ましながらかべたり、温かい食べものを提供したりして、おなかもこころも温かくなり、風邪を吹き飛ばしてほしいと思います。

<1月の食育の様子>

- ・1月9日のおやつに七草粥をしました。

せり・なずな・ごぎょう・はこべら・すすな・すすしろ・ほとけのざの7種類の草が入ってることや、昔の人はお正月で疲れたお腹を休めてこれから1年病気にならないようにと願って食べることを話しました。

「めっちゃ小さいだいいんある」「これってかぶなの?」「食べれる草ってあるんや」「なんで草食べようと思ったんだろ」など、いろいろ感じたことを話してくれました。



1月16日のおやつにだいち組がうどん作りに挑戦しました。朝から小麦粉を練って足で踏んで生地を作りました。生地を踏んでいると「なんかぐにゃぐにゃする」と言いながら友だちと力を合わせて楽しそうに仕上げていました。午後からは麺棒とパスタマシーンを使って生地を伸ばし、包丁で細く切りました。パスタマシーンで生地を伸ばすと「すごいぺたんこになった」と驚いていました。うどんつゆもかつおと昆布から作り、お出汁の味見もしました。少し時間はかかってしまいましたが「うどんって作るの大変なんやな」「こんなに時間かかるんやね」「大変だったけど楽しかった」など出来上がったうどんを食べながらいろいろな思いを話してくれました。

<2月に予定してる食育>

- ・魚の解体ショー・・・子どもたちの目の前で魚を三枚おろしにして切り身にした後、子どもたちと相談して調理法を考え、「命」を考えながらいただきます。
- ・節分では巻き寿司やいわし、豆を食べます。豆はだいちさんに炒ってもらいます。季節の移り変わりや恵方なことやなぜ、いわしの頭をひいらぎに刺すことなども「食」から伝えたいと思います。

<2月旬の食材>

だいこん・かぶ・はくさい・こまつな・ほうれんそう・れんこん・しゅんぎく・みかん・デコボン・りんごなどを予定しています。



★お願い★

- 2月14日にはだいち・ひかりで六甲山に雪遊びに行きます。詳しくはお便りを出します。よく読んでご準備下さい
- 2月24日は30年度の新入園児の説明会です。土曜日保育ご協力できる方はよろしくお願ひします。
- 神戸松蔭女子学院大学と神戸海星女子学院大学から各一名ずつ2月13日から23日まで実習に來られます。

こんなことしたよ♪

だいち組でお餅つきをしました。お休んでいたお友達に体験をと思い企画しました。今回は、うすの中のもち米を杵でつぶし、つくことまで子どもたちが行いました。普段のもちつきのごっこあそびの成果もあったのか、それぞれの子もたちが役割を担い進めることができました。少し冷め固いおもちになりましたが、みんなでほおばったおちはおいしくてあつというまになくなってしまいました。

だいちぐみ、17日には浜脇小学校の震災避難訓練に参加しました。地域の方に小学校まで誘導して頂き、津波発生の想定で校舎の4階まで避難しました。少し緊張しながらの参加でしたが、貴重な経験させていただくことができました。地域のみなさまありがとうございました。

1月は成長発表会に向けてかえでカフェのお母さん方に集まっていただき、「ふるさと」の歌や合奏の練習、かえでマークの看板作りをしていただきました。忙しい中、ありがとうございました。せいちょう発表会での歌や演奏を子どもたちも楽しみにしています。



- 保育園の駐車場は最近大変混雑しています。譲り合ってご利用ください。送迎時には10分を目安にご利用下さい。
- 緊急連絡をすることがあります。お仕事がお休みの場合は担任に声を掛けてお知らせ下さい。
緊急連絡先の変更があるご家庭は速やかにお知らせ下さい。



《2月の予定》

- | | |
|--------|----------------------|
| 3日(土) | せいちょう発表会 |
| 6日(火) | 節分・豆まきの集い |
| 13日(火) | 誕生日会 |
| 14日(水) | 雪あそび (ひかり・だいち) |
| 15日(木) | 支援事業
～健康チェック・育児相談 |
| 19日(月) | 月例健診 |
| 24日(土) | 新入園児説明会 |
| 28日(水) | 酒蔵見学(ひかり・だいち) |

- 1・8・15・22日(木)体操
※1日の体操は、めばえ・ふたば・つぼみが参加します。幼児クラスはお休みです。
9・21日 絵画

※だいちぐみ、交流やおでかけの予定があります。調整中のため、別途お知らせします。

《3月の予定》

- 17日(土) 卒園式
※年間行事予定表でお知らせさせて頂いています。家庭保育のご協力お願いします。ひかりぐみは卒園式に参列します。詳細は別途お知らせします。
- 31日(土) お弁当日
※新年度準備のためできるだけ家庭保育のご協力お願いします。
- 26日～30日 移行保育
30年度のクラスで過ごします。